

令和5年度 第2回 研修会のご報告

フリートーク：「幼保小連携、どうしてる？」

事例提案者：青山学院大学特任教授・元公立幼稚園副園長（26回生）^{くほてら}久保寺 ^{せつこ}節子 氏
茅ヶ崎市立香川小学校 総括教諭 ^{やまだ}山田 ^{ごうすけ}剛輔 氏

今年度の第2回研修会を令和5年11月25日（土）に実施しました。本会として初めて、講師の先生の事例提案をもとに、参会者を交えフリートークをする研修方法を取り、会員の他、久保寺先生のご関係の大学の先生、学生さんも一緒に、会場の附属幼稚園竹早園舎遊戯室で学び、語り合う約80分の研修会でした。

講師の山田先生には、

「子どもとつくる たのしい学び舎」～文化的実践に参加する学びを探求する～と題して、ご勤務の小学校での『教室表示プロジェクト』『腐葉土プロジェクト』について、実践の目的、具体的な実践内容や成果を写真等の資料とともに丁寧にお話いただきました。

“一定の知識や技能を身に付けることのみが学びではない”

“子どもたちが自らしたいことを考え取り組むことが重要である”

“学びに向かう力を育み、学んでよかったという実感を子どもたちが味わうことができるようにしていくことが大切である” など多くのことをご指導いただきました。

また、久保寺先生からは、山田先生の実践報告を受け、

“学びの連続性のために、幼児教育・小学校教育、双方において、子ども主体の教育を実践することが求められる”

“架け橋期は、就学前の幼児教育施設と小学校の双方から学びを問い直し、橋を架け、学びの場・土台をしっかりと創っていくことが大切である”

“幼児教育で実践していること、遊びを通した幼児の学び、環境による教育を積極的に分かりやすく発信していくことが求められている” などのお話がありました。

お二人のお話の後、附属幼稚園竹早園舎・附属竹早小学校や都内の様々な区立幼稚園のお話を聞くとともに、実践のスライド・動画を視聴したり、参会者の質問について講師の先生方にお答えいただいたりしました。フリートークの途中では、おやつタイムもありながら、皆さんでリラックスして話し合いが進みました。

各園での実践、成果や課題、日頃から疑問に感じていることについて、さらに語り合う時間がもてたらと感じられる、あっという間に過ぎた研修会の時間でした。参会者の皆さまから、ご感想・ご意見・講師の先生方へのご質問など加えてありましたら、たんぼぼ会のアドレスへメールをいただけますと幸いです。

次回の研修会も多くの皆様のご参加をお待ちしております。よろしく願いいたします。